

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-278970

(43) 公開日 平成10年(1998)10月20日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
B 6 5 D 81/26		B 6 5 D 81/26 E
A 0 1 N 25/18	1 0 2	A 0 1 N 25/18 1 0 2 A
A 6 1 L 9/00		A 6 1 L 9/00 Z
C 0 9 K 3/00	1 1 0	C 0 9 K 3/00 1 1 0 Z
// A 6 1 K 7/46		A 6 1 K 7/46 Z
審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 4 頁)		

(21) 出願番号 特願平9-104045

(22) 出願日 平成9年(1997)4月8日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 発明者 久保田 将万

東京都中央区日本橋茅場町1-14-10 花
王株式会社内

(72) 発明者 片山 敦

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

(72) 発明者 稲川 義則

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

(74) 代理人 弁理士 塩川 修治

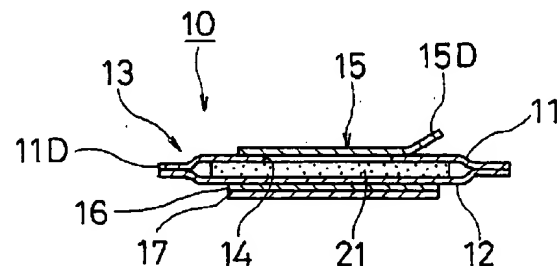
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 揮発剤封入袋

(57) 【要約】

【課題】 本発明の課題は、揮発剤封入袋の取扱性と気密性を向上すること。

【解決手段】 ガスバリアー性を有するシート11、12により気密に形成される薄い袋体13内に揮発剤21を封入するとともに、該袋体13を開封可能とするもの。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガスバリアー性を有するシートにより気密に形成される薄い袋体内に揮発剤を封入するとともに、該袋体を開封可能とする揮発剤封入袋。

【請求項2】 前記袋が、袋体に設けた開口部に剥離可能に封着される蓋を備え、該蓋は該開口部を気密に封止するガスバリアー性を有してなる請求項1記載の揮発剤封入袋。

【請求項3】 前記袋が、袋体の裏側外面に粘着剤層を付与され、この粘着剤層に離型紙を貼付されてなる請求項1記載の揮発剤封入袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、芳香剤、消臭剤、殺虫剤等を封入した揮発剤封入袋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、芳香剤を入れた香袋が用いられている。香袋は、布袋に香料を入れて構成されたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】然しながら、従来の香袋にあっては以下の問題点がある。

①布袋はかさばり易く、携帯等の取扱性が悪い。

【0004】②布袋は気密性がなく、使用前の流通保管段階で芳香剤が揮発蒸散し、効能を低下する。

【0005】③布袋を居室や車室、各種物品等の適宜部位に配置しようとするとき、固定性が悪い。

【0006】本発明の課題は、揮発剤封入袋の取扱性と気密性を向上することにある。

【0007】また、本発明の課題は、揮発剤封入袋の固定配置性を向上することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の本発明は、ガスバリアー性を有するシートにより気密に形成される薄い袋体内に揮発剤を封入するとともに、該袋体を開封可能とするようにしたものである。

【0009】請求項2に記載の本発明は、請求項1に記載の本発明において更に、前記袋が、袋体に設けた開口部に剥離可能に封着される蓋を備え、該蓋は該開口部を気密に封止するガスバリアー性を有してなるようにしたものである。

【0010】請求項3に記載の本発明は、請求項1に記載の本発明において更に、前記袋が、袋体の裏側外面に粘着剤層を付与され、この粘着剤層に離型紙を貼付されてなるようにしたものである。

【0011】請求項1に記載の本発明によれば下記①、②の作用がある。

①揮発剤封入袋はシートにより形成された薄い袋体から構成されるので、かさばらず、携帯等の取扱性が良い。

【0012】②揮発剤封入袋はガスバリアー性を有する

シートにより気密化されるので、使用前の物流保管段階等で内容揮発剤の揮発蒸散を防ぎ、効能を長期維持できる。

【0013】請求項2に記載の本発明によれば下記③の作用がある。

③揮発剤を封入した袋体にガスバリアー性の蓋により開閉される開口部を備えたので、蓋を開くことにより内容揮発剤を開口部から広く積極的に揮発蒸散せしめることができる。尚、蓋がガスバリアー性を有するから、使用前の流通保管段階や使用後再使用前の再封止段階で、揮発剤封入袋を確実に気密化できる。

【0014】請求項3に記載の本発明によれば下記④の作用がある。

④揮発剤を封入した袋体の裏側外面に粘着剤層を付与し、この粘着剤層に離型紙を貼付した。従って、離型紙を剥離された揮発剤封入袋を、上記粘着剤層により、居室や車室、各種物品等に簡易に固定配置できる。

【0015】

【発明の実施の形態】図1は揮発剤封入袋の封止状態を示す模式図、図2は揮発剤封入袋の開封状態を示す模式図、図3は図1のIII-III線に沿う断面図、図4は袋体シートと蓋の材料構成を示す模式図、図5は揮発剤封入袋の変形例を示す模式図である。

【0016】揮発剤封入袋10は、図1～図3に示す如く、ガスバリアー性を有する表裏一對のシート11、12により気密に形成される薄い袋体13内に揮発剤21を封入するとともに、袋体13を開封可能としている。

【0017】このとき、揮発剤封入袋10は、袋体13の表側シート11に設けた開口部14に剥離可能に封着される蓋15を備え、蓋15は開口部14を完全に封止するガスバリアー性を有する。

【0018】袋体13を構成するシート11、12は、例えば図4(A)に示す如く、ポリエチレンテレフタレート(PET)等からなる表層部11A、表層部11Aに接着したアルミ箔もしくは蒸着したアルミ蒸着膜等からなるガスバリアー層部11B、ガスバリアー層部11Bに接着した熱融着性を有するポリエチレン(PE)等からなるシーラント層部11Cとからなる複層ラミネートシートを用いることができる。即ち、袋体13は、シート11、12の全周縁部でそれらのシーラント層部11C、11Cを熱融着すること(もしくは接着剤を介しても可)にて気密形成される。11Dは熱融着部である。

【0019】蓋15は、例えば図4(B)に示す如く、ポリエチレンテレフタレート(PET)等からなる表層部15A、表層部15Aに接着したアルミ箔もしくは蒸着したアルミ蒸着膜等からなるガスバリアー層部15B、表層部15Aとガスバリアー層部15Bの開口部14の外側領域に対応する外周縁部に設けられる粘着剤層部15Cとからなる複層ラミネートシートを用いること

ができる。ガスバリアー層部15Bは開口部14の縦横寸法以上の縦横寸法を備えて開口部14を完全に封止できるようにになっている。また、表層部15Aは粘着剤層部15Cの設けられないタブ15Dを張出形成されている。即ち、蓋15は、袋体13の開口部14回りに粘着剤層部15Cにより被着され、タブ15Dを手指でつまんで開口部14回りから剥離できる。

【0020】揮発剤21としては、芳香剤、消臭剤、殺虫剤を広く採用できる。このとき、揮発剤21は、液剤含浸シート（布、紙等）に含浸させた状態で、もしくは

10 固形状態で袋体13内に封入可能とされる。
【0021】また、揮発剤封入袋10は、袋体13を構成する裏側シート12の外面に、例えば両面粘着テープからなる粘着剤層16を付与され、この粘着剤層16に離型紙17を貼付されるようにすることができる。離型紙17は、複数の揮発剤封入袋10を商品段階で並列状に貼付けて提供する貼付用台紙として使用するものであっても良い。揮発剤封入袋10は、離型紙17を剥離した粘着剤層16を用いることにより、適宜の使用先部位に貼着配置されて使用できる。

【0022】揮発剤封入袋10は以下の如く使用される。

(1) 裏側シート12の離型紙17を剥離し、粘着剤層16を用いて、揮発剤封入袋10を居室や車室、各種物品等の適宜部位に貼付け配置する。

【0023】但し、この(1)は必ずしも行なうことなく、離型紙17を剥離することなく、揮発剤封入袋10を適宜の使用先に単に配置するものであっても良い。

【0024】(2) 蓋15のタブ15Dを手指でつまんで袋体13の開口部14回りから剥離し、袋体13を開封する。蓋15は廃棄処分し、或いは袋体13等に貼付けておいて開口部14の再封止時に再使用するものとしても良い。

【0025】(3) 上記(2)により、袋体13内の揮発剤21は開口部14から広く周辺に揮発蒸散し、揮発剤21に特有の芳香機能、消臭機能、殺虫機能等を及ぼす。

【0026】従って、揮発剤封入袋10は以下の如くの作用がある。

①揮発剤封入袋10はシート11、12により形成された薄い袋体13から構成されるので、かさばらず、携帯等の取扱性が良い。

【0027】②揮発剤封入袋10はガスバリアー性を有するシート11、12により気密化されるので、使用前の物流保管段階等で内容揮発剤21の揮発蒸散を防ぎ、効能を長期維持できる。

【0028】③揮発剤21を封入した袋体13にガスバリアー性の蓋15により開閉される開口部14を備えたので、蓋15を開くことにより内容揮発剤21を開口部14から広く積極的に揮発蒸散せしめることができる。

尚、蓋15がガスバリアー性を有するから、使用前の流通保管段階や使用後再使用前の再封止段階で、揮発剤封入袋10を確実に気密化できる。

【0029】④揮発剤21を封入した袋体13の裏側外面に粘着剤層16を付与し、この粘着剤層16に離型紙17を貼付した。従って、離型紙17を剥離された揮発剤封入袋10を、上記粘着剤層16により、居室や車室、各種物品等に簡易に固定配置できる。

【0030】尚、揮発剤封入袋10は以下の如くに変形できる。

(1) 袋体13を表裏一對のシート11、12の接合によらず、1枚のシート31を図5に示す如くに折り畳み、折り畳みシート31の折り畳み縁部を除く外周縁部を接合するもの。

【0031】(2) 袋体13に開口部14と蓋15を設けず、袋体13の構成シートの一部を引裂もしくは切離することにて開封するもの。

【0032】(3) 袋体13の裏側外面に、粘着剤層16に代わるファスナー等の係止機能部分を設けて適宜部位に係止して配置できるもの。

【0033】以上、本発明の実施の形態を図面により詳述したが、本発明の具体的な構成はこの実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があっても本発明に含まれる。

【0034】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、揮発剤封入袋の取扱性と気密性を向上することができる。

【0035】また、本発明によれば、揮発剤封入袋の固定配置性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は揮発剤封入袋の封止状態を示す模式図である。

【図2】図2は揮発剤封入袋の開封状態を示す模式図である。

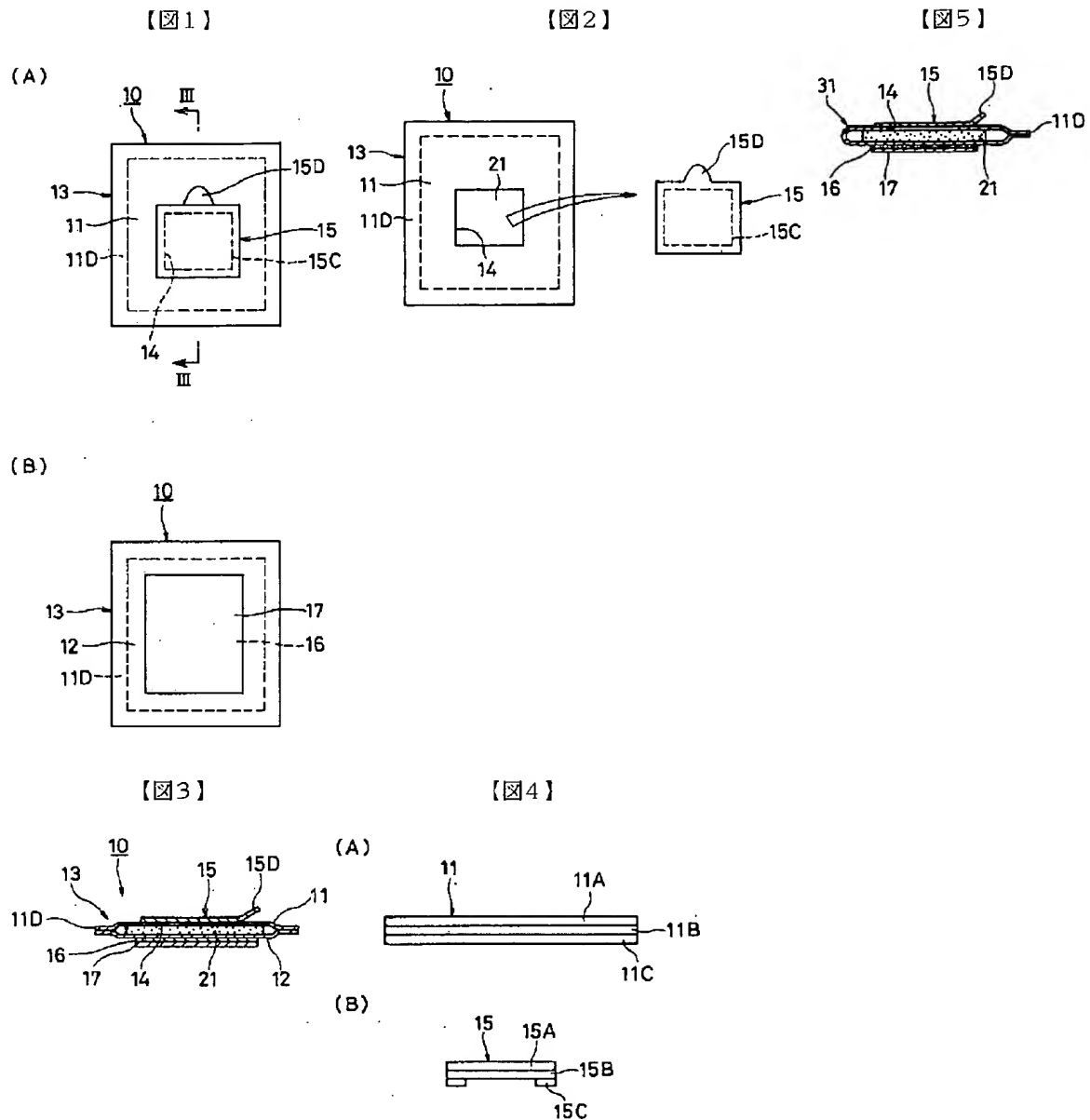
【図3】図3は図1のIII-III線に沿う断面図である。

【図4】図4は袋体シートと蓋の材料構成を示す模式図である。

【図5】図5は揮発剤封入袋の変形例を示す模式図である。

【符号の説明】

- 10 揮発剤封入袋
- 11、12 シート
- 13 袋体
- 14 開口部
- 15 蓋
- 16 粘着剤層
- 17 離型紙
- 21 揮発剤



フロントページの続き

(72)発明者 峰岸 裕
東京都中央区日本橋茅場町1-14-10 花
王株式会社内

(72)発明者 荒木 康夫
東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

PAT-NO: JP410278970A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10278970 A
TITLE: BAG FOR SEALING VOLATILE AGENT
PUBN-DATE: October 20, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KUBOTA, MASAKAZU
KATAYAMA, ATSUSHI
INAGAWA, YOSHINORI
MINEGISHI, YUTAKA
ARAKI, YASUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KAO CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09104045

APPL-DATE: April 8, 1997

INT-CL (IPC): B65D081/26, A01N025/18 , A61L009/00 ,
C09K003/00 , A61K007/46

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve handling property and airtightness of a bag for sealing volatile agent by sealing the volatile agent in a thin bag body formed of a sheet having gas barrier ability to be airtight and also by making the bag body unsealable.

SOLUTION: Volatile agent 21 is sealed in a thin bag body 13 formed of a pair of surface and rear sheets 11, 12 having gas barrier ability to be airtight,

while an opening 14 is provided on the surface sheet 11 of the bag body 13, and a lid 15 having gas barrier ability is peelably sealed to have the opening 14 completely sealed. An adhesive layer 16 comprising an adhesive double coated tape for example is applied to an external face of the rear sheet 12 constituting the bag body 13, and a lubricant sheet 17 is stuck to the adhesive layer 16. When the bag 10 for sealing volatile agent is to be used, the lubricant sheet 17 on the rear sheet 12 is peeled off and stuck at an appropriate site using the adhesive layer 16. Then a tab 15D of the lid 15 is picked up in fingers to peel off around the opening 14 of the bag body 13 for unsealing the bag body 13.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO